

クロラントラニリプロール (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼及び畜産物への基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：クロラントラニリプロール [Chlorantraniliprole (ISO)]

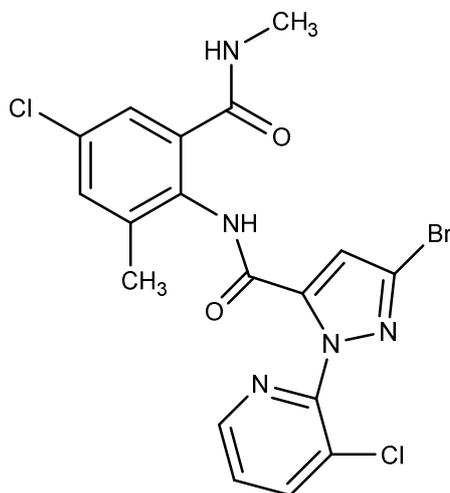
(2) 用途：殺虫剤

アントラニリックジアミド系殺虫剤である。昆虫の筋小胞体膜のカルシウムチャンネル(リアノジン受容体)に作用してカルシウムイオンを放出させ、筋収縮を起こすことにより殺虫効果を示すと考えられている。

(3) 化学名及びCAS番号

3-Bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-(methylcarbamoyl)phenyl]-1-(3-chloropyridin-2-yl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (IUPAC)
1*H*-Pyrazole-5-carboxamide, 3-bromo-*N*-[4-chloro-2-methyl-6-[(methylamino)carbonyl]phenyl]-1-(3-chloro-2-pyridinyl)-
(CAS : No. 500008-45-7)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{18}H_{14}BrCl_2N_5O_2$
分子量	483.14
水溶解度	1.023 mg/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 2.76$ (20°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名及び適用病害虫名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コガ アオムシ ヨウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ネリムシ類 カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	コガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウバ類	500倍	苗地床 1 m ² 当たり2 L				
	コガ アオムシ ヨウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウバ類 オタバコガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前 日 まで	3回以内	散布	
はくさい	コガ アオムシ ヨウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	
	コガ アオムシ ヨウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	
かぶ						3回以内	
非結球あぶら な科葉菜類 (タサイを除く)	コガ				2回以内	2回以内	

① 5.0%クロラントラニプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
タアサイ	コガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
	オオタバコガ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	
あすっこ	アオムシ						1回
だいこん	コガ アオムシ ヨトウムシ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	3回以内
はつか だいこん	ハイマダラノメイガ カブラハバチ ハモグリバエ類				1回		1回
カリフラワー	コガ アオムシ ハスモンヨトウ				100倍		セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L
ブロッコリー		コガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	3回以内	散布		4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)	
はなっこりー	アオムシ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以 内、散布は2回以 内)
		2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロール を含む農薬の 総使用回数
レタス	ヨウムシ ハスモンヨトウ オタハコガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ハメグリバエ類	1000～ 2000倍					
非結球 レタス	ヨウムシ ハスモンヨトウ オタハコガ ハメグリバエ類 ネキリムシ類 ヒメアザテシヨコバエ	100倍	セル成型育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以 内、散布は3回以 内)
	ヨウムシ ハスモンヨトウ オタハコガ ハメグリバエ類	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
トマト	ハメグリバエ類	1000～ 2000倍					
	オタハコガ	2000倍	1株当たり25 mL	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
ミニトマト	ハメグリバエ類 コジラミ類	100倍					
		ハメグリバエ類	200倍	1株当たり50 mL	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以 内、 散布は3回以内)
	コジラミ類	100倍	1株当たり25 mL				
	ハメグリバエ類 オタハコガ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
なす	ハスモンヨトウ ハメグリバエ類 ネキリムシ類	100倍	1株当たり25 mL	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハメグリバエ類	200倍	1株当たり50 mL				
	ハメグリバエ類	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	3回以内
とうがらし類	ハスモンヨトウ オタハコガ	1000～ 2000倍					
	ハメグリバエ類	2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、 散布は2回以内)
ピーマン	ハスモンヨトウ コジラミ類	100倍					

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
きゅうり	ハダカトリバエ類	100～200倍	1株当たり25 mL	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
		200倍	1株当たり50 mL				
	1000～2000倍						
	ウツメカ	2000倍					
ズッキーニ	ハダカトリバエ類	1000倍		収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
メロン すいか	オオトリバエ類 ハダカトリバエ類	2000倍	100～300 L/10 a				
とうがん	ハダカトリバエ類			2回以内	2回以内		
いちご							
パセリ	ヨトウムシ					収穫7日前まで	1回
せり科葉菜類 (パセリを除く)	ヨトウムシ						
らっきょう	ハダカトリバエ類			収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	シロイモシヨトウ ネギコガ ハダカトリバエ類						
		ハダカトリバエ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又は ペーパーポット1冊 (約30×60 cm、 使用土壌 約1.5～4 L) 当たり0.5 L	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
えだまめ	ハダカトリバエ類 マシクガ ウツメカ	4000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
だいず		16～32倍	0.8 L/10 a				

① 5.0%クロラントラニリプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希積 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニプロール を含む農薬の 総使用回数	
未成熟 そらまめ	ハメグリバエ類	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	3回以内	散布	3回以内	
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハメノトウ ハメグリバエ類	2000倍						4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
アマランサス (茎葉)	シオビノメカガ							
なばな	アホシ ハメノトウ							
やまのいも	ハメノトウ カガイモカガ							
かんしょ	ハメノトウ	2000～ 4000倍					3回以内	
	カジロンタバ	4000倍						
さといも アスパラガス ほうれんそう	ハメノトウ	2000倍					3回以内	
モロヘイヤ								2回以内
バジル しそ								
えごま(葉) ふき								3回以内
クルン (土耕栽培)	コカガ	収穫 3日前 まで					2回以内	
ごま	オタバコガ	収穫 14日前 まで						
とうもろ こし	アヲメカガ オタバコガ	2000倍					3回以内	
オクラ	オタバコガ ハメノトウ		3回以内					
しょうが	ハメノトウ							

② 10.0%クロラントラニプロールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
りんご	シクイムシ類 ハマキムシ類 ケムシ類 ギンモンホリガ ギンモンハモグリガ ヒメホトリウ	2500～ 5000 倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
	ヨモギエダシヤク	5000 倍					
なし	ケムシ類 シクイムシ類	2500～ 5000 倍					
	ハマキムシ類 ヒメホトリウ	5000 倍					
かき	ハマキムシ類 ケムシ類 ヒロハリアオイラガ カキノハタムシガ ハスモンヨトウ フタモンマダラメイガ	5000 倍					
ぶどう	ハマキムシ類 ケムシ類 モンキクロノメイガ クビアカスシハ	5000 倍					
おうとう	ハマキムシ類 ケムシ類	2500～ 5000 倍					
	オウトウシヨウジヨウバエ	2500 倍					
	コスカシハ	5000 倍					
うめ	ケムシ類	2500～ 5000 倍					
	ハマキムシ類	2500 倍					
	ノコトガリキリガ	5000 倍					
すもも	シクイムシ類	2500 倍					
あんず	ケムシ類 ハマキムシ類	2500～ 5000 倍					
		2500 倍					
もも	シクイムシ類 ハマキムシ類	5000 倍	収穫前日 まで	2回 以内		2回以内	
ネタリン	モモハモグリガ		収穫3日 前まで				

② 10.0%クロラントラニリプロールフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
さとうきび	イトトウ	5000 倍	100～300 L/10 a	収穫 30 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内(粒剤は 1 回以内、水和剤は 3 回以内)
茶	チャノコカモシハマキ チャハマキ ヨモギエダシヤク	2000 倍	200～400 L/10 a	摘採 3 日前まで	1 回	散布	1 回
	チャノホガ	2000～4000 倍					
	ハモシトウ	4000 倍					

③ 1.0%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	コブノメカ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当たり 50 g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する	1回

④ 0.75%クロラントラニリプロール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50 g	移植当日	1 回	育苗箱の上から均一に散布する	1 回
	ニカメイト コブノメカ フタホシコヤガ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50 g	は種時 覆土前 ～移植 当日			
	イネツトムシ イネトオムシ イネミスヅウムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約 5 L)1 箱当たり 50 g	は種前		育苗箱の床土に均一に混和する	

⑤ 0.50%クロラントラニプロール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コカ [®] ハイダ [®] ラノメカ [®] アムシ	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1 冊(約30×60 cm、 使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期 後半 ～定植 当日	1回	本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイ又はペーパ ーポットの上か ら均一に散布 する	4回以内 (定植時ま での処理は1回 以内、散布は 3回以内)
		1 g/株	育苗期 後半～ 定植時		株元散布	
はくさい ブロッコリー	コカ [®] ハイダ [®] ラノメカ [®] アムシ	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1 冊(約30×60 cm、 使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期 後半～ 定植当 日		本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイ又はペーパ ーポットの上か ら均一に散布 する	4回以内 (定植時ま での処理は1回 以内、散布は 3回以内)
		1 g/株	育苗期 後半～ 定植時		株元散布	
レタス	ハメグリハエ	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1 冊(約30×60 cm、 使用土壌約1.5～4 L)当たり50 g	育苗期 後半 ～定植 当日		本剤の所定量 をセル成型育苗 トレイ又はペーパ ーポットの上か ら均一に散布 する	4回以内 (定植時ま での処理は1回 以内、散布は 3回以内)
	材タバコカ [®]		育苗期 後半～ 定植時		株元散布	
トマト	ネリムシ類					
きゅうり	ハメグリハエ類					
なす	ネリムシ類 ハメグリハエ類	4～6 kg/10 a	植付時		植溝土壌混和	4回以内 (粒剤は1回 以内、水和剤 は3回以内)
さとう きび	メイトウ類		生育期 ただし 最終倍 土まで		株元散布	

⑥ 25.0%クロラントラニリプロール・12.5%アミスルブロム顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネノオムシ イネズグウシ	500倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈液500 ml	は種時～出芽時 ただし、移植15日前まで	1回	土壌灌注	1回
		1000倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈液1 L				
	フタバコヤカ ニカメチュウ	500倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈液500 ml	は種時			
	苗立枯病 (ヒシウム菌)	1000倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈液1 L				

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ムシ苗防止	500倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈液500 ml	は種時～出芽時 ただし、移植15日前まで	1回	土壌灌注	1回
		1000倍	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈液1 L				

⑦ 8.7%クロラントラニリプロール・17.5%チアメトキサムフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 アオムシ ハイマダラノメカガ ネギアサミウマ ハスモンヨトウ コナガ ネリムシ類 ヨトウムシ	1000倍	苗地床 1 m ² 当たり 2 L	は種時～育苗期後半	1回	灌注	4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類 ネギアサミウマ コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカガ	200倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり 0.5 L	育苗期後半～定植当日			
	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ハイマダラノメカガ オタバコガ	4000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	
はくさい	アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメカガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ キスジノミハムシ カブラハバチ	200倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり 0.5 L	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
	コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメカガ アブラムシ類 ハスモンヨトウ	4000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	
ブロッコリー	アブラムシ類 ネギアサミウマ コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカガ	200倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり 0.5 L	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	

⑦ 8.7%クロラントラニリプロール・17.5%チアメトキサムフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
レタス	アブラムシ類 カブラヤガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	200 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約 1.5～4L)当たり 0.5L	育苗期 後半～ 定植当 日	1 回	灌注	4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
非結球 レタス	ナメグサ リハエ ヒメフタテンヨコバイ	200 倍					4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハメグサ リハエ タネハエ タネハエ ネギムシ類	200 倍					4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
なばな	アブラムシ類 ハスモンヨトウ コナガ アオムシ	200 倍					4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)

⑧ 5.0%クロラントラニリプロール・2.0%エマメクチン安息香酸顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカガ タナキンウバ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7日前 まで	3 回 以内	散布	4回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
はくさい	コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメカガ						4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
ブロッコリー	コナガ アオムシ ヨトウムシ						4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
レタス	オオタバコガ ナメグサ リハエ			収穫 3日前 まで	2 回 以内		4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
非結球 レタス		収穫 7日前 まで	3 回 以内	4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)			
ねぎ	シロイモジ ヨトウ ネギハメグサ リハエ			収穫 7日前 まで	3 回 以内		4回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)

⑧ 5.0%クロラントラニリプロール・2.0%エマメクチン安息香酸顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時 期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
きゅうり	ウリノメカ トマトハモグリバエ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 前日 まで	2 回 以内	散布	4 回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
かんしょ	ハスモンヨトウ			収穫 7 日前 まで	3 回 以内		3 回以内
だいこん	アオムシ コナガ						
メロン	トマトハモグリバエ						
なす	ハスモンヨトウ			収穫 前日 まで	2 回 以内		3 回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内)

⑨ 4.0%クロラントラニリプロール・15.0%ジノテフラン顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時 期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメカ アザミウマ類	100 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はパーパポット1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5～4.0 L)当たり0.5 L	定植前 日～定 植時	1 回	灌注	4 回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
はくさい	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメカ						
ブロッコリー	コナガ アオムシ						
レタス	アブラムシ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ カブラヤガ ナメグリバエ						

⑨ 4.0%クロラントラニリプロール・15.0%ジノテフラン顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
非結球 レタス	アブラムシ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ カブラヤカ ナメグリハエ	100 倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5～4.0 L)当たり0.5 L	定植前日～定植時	1 回	灌注	4 回以内(灌注は1回以内、散布は3回以内)
ねぎ	ハメグリハエ類 アザミヤカ類 シロイモシヨトウ						

⑩ 1.5%クロラントラニリプロール・48.0%プロベナゾール顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネトモイシ イネズヅウムシ	500 g/10 a	移植時	1 回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	1 回

⑪ 0.75%クロラントラニリプロール・24.0%プロベナゾール粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネズヅウムシ	1 kg/10 a	は種時	1 回	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 回
	いもち病 イネトモイシ		移植時		側条施用	
稲 (箱育苗)	コブメカガ もみ枯細菌病 白葉枯病 内穎褐変病 イネメグリハエ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	移植当日 移植3日前～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。	

⑪ 0.75%クロラントラニリプロール・24.0%プロベナゾール粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 ツマグロヨコバイ フタホシコヤガ イトヨモミシ イトスズムシ ニカメイチュウ イトムシ	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5L)1箱当たり50g	緑化期～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回

(2) 海外での使用方法

① 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル（米国）

作物名	1回当たりの使用量	本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
アーティチョーク	0.045-0.098 lb ai/A	4回以内	0.2 lbs ai/A	収穫3日前まで	散布
アスパラガス	0.045-0.065 lb ai /A			収穫前日まで	
鱗茎野菜類					
あぶらな属野菜	0.045-0.065 lb ai /A	4回以内 (滴下処理は2回以内、ただし既に植付時土壌処理を行っている場合は1回以内)		収穫3日前まで	植付時土壌処理
	0.045-0.098 lb ai /A				滴下処理
穀類 (とうもろこし及び稲を除く)	0.045-0.065 lb ai /A	4回以内		収穫14日前まで	散布
とうもろこし				収穫前日まで	
綿実	0.045-0.098 lb ai /A			収穫21日前まで	
うり科野菜	0.026-0.09 lb ai /A	4回以内 (滴下処理は2回以内、ただし既に植付時土壌処理を行っている場合は1回以内)	0.2 lb ai/A	収穫前日まで	植付時土壌処理
	0.045-0.098 lb ai /A				滴下処理
	果菜類				0.026-0.098 lb ai /A
0.045-0.098 lb ai /A					植付時土壌処理
					滴下処理
葉菜類 (あぶらな属野菜を除く)	0.045-0.098 lb ai /A				植付時土壌処理
		滴下処理			
		散布			

① 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル (米国) (つづき)

作物名	1回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間 中の総使 用量	使用時期	使用方法
ハーブ類	0.045-0.065 lb ai /A	4回以内	0.2 lb ai/A	収穫当日まで	散布
ホップ				収穫前日まで	
豆類 (大豆を除く)	0.045-0.098 lb ai /A			収穫3日前まで	
ミント	0.045-0.065 lb ai /A			収穫前日まで	
らっかせい				収穫14日前まで	
ばれいしょ				収穫21日前まで	
オイルシード				収穫前日まで	
スパイス類				収穫14日前まで	
いちご				収穫前日まで	
だいち				収穫14日前まで	
さとうきび				収穫前日まで	
根菜類				収穫前日まで	

ai : active ingredient (有効成分)

② 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤 (米国)

作物名	1回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の 総使用量	使用時期	使用方法
バナナ	0.066-0.099 lb ai /A	3回以内	0.2 lb ai /A	収穫前日まで	散布
ベリー類				収穫前日まで (caneberry は 収穫3日前まで)	
つる性果実類				収穫前日まで	
かんきつ類				収穫7日前まで	
コーヒー豆				収穫前日まで	
いちじく				収穫14日前まで	
ぶどう	0.044-0.099 lb ai /A	4回以内		収穫14日前まで	
オリーブ	0.066-0.099 lb ai /A	3回以内		収穫前日まで	
かき				収穫5日前まで (mayhaw は収穫 14日前まで)	
仁果類	0.055-0.099 lb ai /A	4回以内		収穫前日まで	
ざくろ	0.066-0.099 lb ai /A	3回以内		収穫10日前まで	
核果類					
ナッツ類	0.044-0.099 lb ai /A	4回以内			

② 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（米国）（つづき）

作物名	1回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の 総使用量	使用時期	使用方法
トロピカルフルーツ	0.066-0.099 lb ai /A	3回以内	0.2 lb ai /A	収穫前日まで (ただし、アボカド、ジャム ブドウ、イチゴ、パイナップル、 パッションフルーツは 収穫10日前まで)	散布

③ 18.4%クロラントラニリプロールフロアブル（EU）

作物名	1回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
なす	85 g ai/ha	3回以内	255 g ai/ha	収穫2日前 まで	散布
キャベツ	55~70 g/ha		210 g ai/ha		
ブロッコリー			255 g ai/ha		
きゅうり	85 g/ha				
ズッキーニ					
レタス					
メロン	70~85 g/ha				
ピーマン					
トマト	85 g/ha				

④ 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（豪州）

作物名	1回当たりの 使用量	本剤の使用回数	使用時期	使用方法
ひよこ豆	31.5 g ai/ha	2回以内	収穫14日前 まで	散布
緑豆				
だいず				

⑤ 35%クロラントラニリプロール顆粒水和剤（ニュージーランド）

作物名	1回当たりの 使用量	本剤の 使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
アボカド	3.15 g ai/100 L	2回以内	270 g ai/ha	収穫14日前 まで	散布

3. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・クロラントラニリプロール

② 分析法の概要

【国内】

試料からアセトニトリル・水(4:1)混液で抽出、又はアセトンで抽出し、酢酸エチルに転溶する。SAX カラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体カラム、スチレンジビニルベンゼン共重合体・C₁₈ 連結カラム又はフロリジルカラム及びPSA カラムを用いて精製し、液体クロマトグラフ・質量分析計(LC-MS)又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計(LC-MS/MS)で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、凝固法、フロリジルカラム及びPSA カラムを用いて精製した後、LC-MS で定量する。

または、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出し、SAX・HLB 連結カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム、フロリジルカラム、PSA カラム、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及び C₁₈ カラムを用いて精製し、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ(HPLC-UV)で定量する。

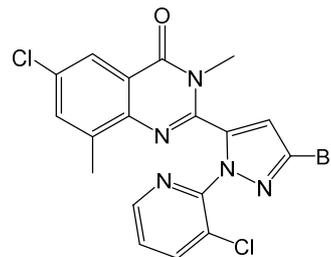
定量限界 0.01 ppm

【海外】

試料に水を加え、アセトニトリル及びヘキサンで抽出し、アセトニトリル層を採る。HLB カラムを用いて精製し、LC-MS/MS で定量する。

または、試料に水を加え、アセトニトリルで抽出する。SAXカラム及びHLBカラムを用いて精製した後、加熱してクロラントラニプロールを2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-3,8-ジメチル-4(3*H*)-キナゾリノン(以下、代謝物0という)に変換し、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ(GC-ECD)で定量する。

定量限界 0.01 ppm



代謝物0

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2~1-4 を参照。

4. 魚介類への推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数(BCF:Bioconcentration Factor)から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場面においても使用されることから、水田 PECtier2^{注2)}及び非水田 PECtier1^{注3)}について算出したところ、水田 PECtier2は0.19 ppb、非水田 PECtier1は0.0044 ppb となったことから、水田 PECtier2の0.19 ppbを採用した。

(2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール水/分配係数($\log_{10}Pow$)が2.76であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCFについては実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、回帰式($\log_{10}BCF=0.80 \times \log_{10}Pow-0.52$)を用いて48.8と算出された。

(3) 推定残留濃度

(1)及び(2)の結果から、クロラントラニリプロールの水産動植物被害予測濃度：0.19 ppb、BCF：48.8とし、下記のとおり推定残留濃度が算出された。

$$\text{推定残留濃度} = 0.19 \text{ ppb} \times (48.8 \times 5) = 0.04636 \text{ ppm} \doteq 0.05 \text{ ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止にかかる農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出したもの。

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. 畜産物への推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、農林水産省から畜産物に関する個別の残留基準の設定について要請されている。

このため、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・クロラントラニリプロール
- ・3-ブロモ-N-[4-クロロ-2-[[[(ヒドロキシメチル)アミノ]カルボニル]-6-メチルフェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド
(以下、代謝物Cという)
- ・3-ブロモ-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[(メチルアミノ)カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド
(以下、代謝物Dという)
- ・2-[3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-(ヒドロキシメチル)-4(3H)-キナゾリノン
(以下、代謝物Eという)
- ・3-ブロモ-N-[4-クロロ-2-(ヒドロキシメチル)-6-[[[(ヒドロキシメチル)アミノ]

カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-
カルボキサミド

(以下、代謝物Gという)

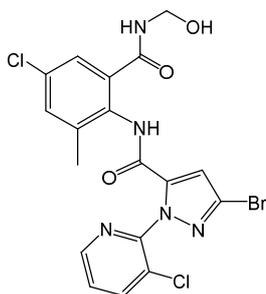
- *N*-[2-(アミノカルボニル)-4-クロロ-6-メチルフェニル]-3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-カルボキサミド

(以下、代謝物Mという)

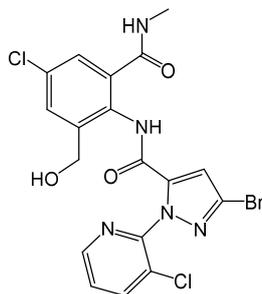
- 2-[3-ブromo-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1*H*-ピラゾール-5-イル]-6-クロロ-8-メチル-4(3*H*)-キナゾリノン

(以下、代謝物Nという)

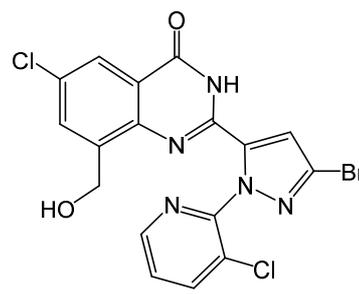
- 代謝物O



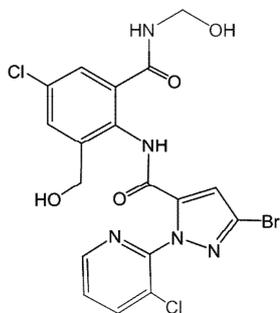
代謝物C



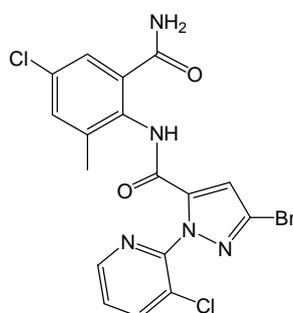
代謝物D



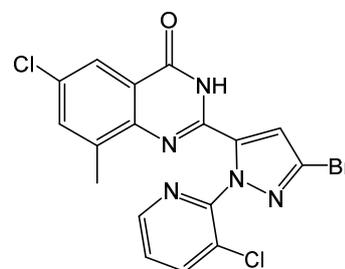
代謝物E



代謝物 G



代謝物 M



代謝物 N

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水・ヘキサン(4:1:2)混液で抽出し、SAX カラム又は HLB カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

牛の試料ではクロラントラニプロール、代謝物 D、G、N 及び O、鶏の試料ではクロラントラニプロール、代謝物 C、E、M、N 及び O を分析した。

定量限界 : 0.01 ppm

(2) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

① 乳牛における残留試験

乳牛（3頭/群）に対して、飼料中濃度として1、3、10及び50 ppmに相当する量のクロラントラニプロールを含有するゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、最終投与1日後の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロラントラニプロール及び代謝物濃度を測定した（検出限界：筋肉：0.003 ppm、脂肪：0.004 ppm、肝臓：0.005 ppm、腎臓：0.003 ppm）。また、乳については、乳を最終投与の1、3、5、7、10、14、21及び28日後に搾乳し、14及び21日後に採取した乳よりスキムミルク及びクリーム試料を調製し、クロラントラニプロール及び代謝物濃度を測定した（検出限界：0.003 ppm）。結果については表1を参照。ほとんどの試料からは代謝物N及び代謝物Oは検出されなかった。

表1. 組織中のクロラントラニプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg)

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群	50 ppm 投与群
筋肉	クロラントラニプロール	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.029 (0.021)
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.012 (0.011)
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
脂肪	クロラントラニプロール	<0.01 (<0.01)	0.015 0.012	0.036 0.029	0.156 0.138
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.020 (0.013)
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
肝臓	クロラントラニプロール	<0.01 (<0.01)	0.014 0.011	0.035 0.029	0.133 0.127
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.019 (0.017)	0.050 0.045
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
腎臓	クロラントラニプロール	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.035 0.022	0.081 0.068
	代謝物D	<0.01 (<0.01)	不明 0.005	0.011 0.010	0.042 0.039
	代謝物G	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.014 0.012
乳 ^{注)}	クロラントラニプロール	<0.01	<0.01	<0.01	0.022
	代謝物D	<0.01	<0.01	0.012	0.035
	代謝物G	<0.01	<0.01	<0.01	0.012
スキムミルク ^{注)}	クロラントラニプロール	<0.01	<0.01	<0.01	0.016
	代謝物D	<0.01	<0.01	0.013	0.028
	代謝物G	<0.01	<0.01	<0.01	0.012

表 1. 組織中のクロラントラニプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群	50 ppm 投与群
クリーム ^{注)}	クロラントラニプロール	<0.01	0.013	0.026	0.108
	代謝物 D	<0.01	<0.01	0.08	0.275
	代謝物 G	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

注) 乳、スキムミルク及びクリームは平均的な残留濃度

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏 (10羽/群) に対して、飼料中濃度として 3、9 及び 30 ppm に相当する量のクロラントラニプロールを含有するゼラチンカプセルを 28 日間にわたり摂食させた後、筋肉、肝臓並びに皮膚及び脂肪に含まれるクロラントラニプロール及び代謝物濃度を測定した。また、鶏卵については、投与期間中毎日採卵し、3~6 日毎にクロラントラニプロール及び代謝物濃度を測定した (定量限界：0.01 ppm)。結果については表 2 を参照。

表 2. 組織中のクロラントラニプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg)

投与量		3 ppm 投与群	9 ppm 投与群	30 ppm 投与群
摂餌量を考慮した投与量		4.8 ppm	18.8 ppm	51.9 ppm
筋肉	クロラントラニプロール	0.016 (0.011)	0.036 (0.027)	0.054 (0.049)
	代謝物 C	0.014 (0.010)	0.033 (0.028)	0.610 (0.052)
	代謝物 M	0.018 (0.013)	0.032 (0.031)	0.075 (0.064)
	代謝物 E	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	代謝物 N	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	代謝物 O	ND	ND	ND
肝臓	クロラントラニプロール	0.054 (0.038)	0.122 (0.092)	0.178 (0.147)
	代謝物 C	0.060 (0.042)	0.132 (0.113)	0.222 (0.199)
	代謝物 M	0.082 (0.062)	0.194 (0.153)	0.372 (0.286)
	代謝物 E	0.026 (0.021)	0.065 (0.060)	0.200 (0.159)
	代謝物 N	<0.010 (<0.010)	0.019 (0.018)	0.035 (0.031)
	代謝物 O	ND	ND	ND

表 2. 組織中のクロラントラニリプロール及び代謝物の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

投与量		3 ppm 投与群	9 ppm 投与群	30 ppm 投与群
摂餌量を考慮した投与量		4.8 ppm	18.8 ppm	51.9 ppm
皮膚及び脂肪	クロラントラニリプロール	0.066 (0.043)	0.141 (0.095)	0.212 (0.168)
	代謝物 C	0.032 (0.019)	0.089 (0.068)	0.101 (0.092)
	代謝物 M	0.072 (0.046)	0.116 (0.103)	0.236 (0.204)
	代謝物 E	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
	代謝物 N	ND	<0.01 (<0.010)	0.018 (0.163)
	代謝物 O	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
鶏卵	クロラントラニリプロール	0.162 (0.112)	0.512 (0.185)	0.680 (0.397)
	代謝物 C	0.077 (0.057)	0.220 (0.106)	0.490 (0.243)
	代謝物 M	0.071 (0.053)	0.193 (0.105)	0.365 (0.215)
	代謝物 E	0.015 (0.010)	0.033 (0.023)	0.077 (0.050)
	代謝物 N	0.069 (0.051)	0.183 (0.100)	0.375 (0.222)
	代謝物 O	0.028 (0.016)	0.073 (0.029)	0.100 (0.060)

ND：検出限界 (0.003 ppm) 未満

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

JMPRは肉牛、乳牛におけるMDB^{注1)}をそれぞれ36 ppm及び30 ppmと評価している。また、STMR dietary burdenをそれぞれ18 ppm及び17 ppmと評価している。また、家きんでは、産卵鶏及び肉用鶏においてMDBとSTMR dietary burdenをそれぞれ4.8 ppm及び1.454 ppm、3.6 ppm及び0.869 ppmと評価している。

日本では肉牛、乳牛及びににおけるMDBをそれぞれ17.17 ppm及び5.97 ppmと評価している。また、家きんでは、産卵鶏及び肉用鶏においてMDBとSTMR dietary burdenを1.38 ppm及び1.90 ppmと評価している。

注1)最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden: MDB)：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

注2)平均飼料負荷 (STMR dietary burden又はmean dietary burden)：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(3) 推定残留濃度

乳牛、肉牛及び産卵鶏について、JMPRのMDB及びSTMR dietary burdenと各試験にお

ける投与量から、畜産物中の推定最大残留濃度を算出した。結果については表 4-1 及び 4-2 を参照。

表 4-1. 畜産物中の推定残留濃度；牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.019 (0.0091)	0.098 (0.048)	0.083 (0.026)	0.058 (0.030)	0.013 (0.008)
肉牛	0.022 (0.0094)	0.117 (0.051)	0.097 (0.028)	0.065 (0.031)	

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

表 4-2. 畜産物中の推定残留濃度；鶏 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	卵
肉用鶏	0.005 (0.002)	0.02 (0.008)	0.016 (0.007)	—	
産卵鶏	0.016 (0.008)	0.066 (0.032)	0.054 (0.029)	—	0.162 (0.08)

—：分析せず。

上段：最大残留濃度 下段：平均的な残留濃度

6. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロラントラニリプロールに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：158 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） 雄マウス

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 発がん性試験

（期間） 18 か月間

安全係数：100

ADI：1.5 mg/kg 体重/day

(2) ARfD 設定の必要なし

クロラントラニリプロールの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったため、急性参照用量 (ARfD) は設定する必要がないと判断した。

7. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価が行われ、2008 年に ADI が設定され、ARfD は設定の必要なしとされている。国際基準は穀類、葉菜類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、びわ等に、カナダにおいてりんご、あんず等に、EU においてりんご、ナッツ類等に、豪州においてぶどう、レタス等に、ニュージーランドにおいてアボカド、ばれいしょ

等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロラントラニリプロールとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてクロラントラニリプロール(親化合物のみ)を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
一般(1歳以上)	5.0
幼小児(1~6歳)	9.6
妊婦	4.9
高齢者(65歳以上)	5.5

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算した。

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稻 (玄米)	2	1.0% 粒剤	50 g/箱 育苗箱処理	1	119 137	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
未成熟とうもろこし (子実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
とうもろこし (乾燥子実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 191-200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
だいず (乾燥子実)	2	5.0% フロアブル	4000倍 散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: 0.03 (3回, 7日) (#) 注2) 圃場B: <0.01 (3回, 7日) (#)
	2		16倍 0.8 L/10 a 無人ヘリコプターによる散布	2	7, 14, 21	圃場A: 0.01 圃場B: 0.01
さといも (塊茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 166, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
かんしょ (塊根)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 180, 175 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
やまのいも (塊茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 195, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
さとうきび (茎)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 222, 243 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
	2	0.50%粒剤+ 10.0%フロアブル	6kg株元 散布+ 5000倍散布 278, 200 L/10 a	1+3	30, 45, 60	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
だいこん (葉部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 15 1, 3, 7, 14	圃場A: 1.78 圃場B: 1.29
	2					2000倍 散布 200 L/10 a
はつかだいこん (茎部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A: 6.62 (1回, 3日) 圃場B: 6.50
はつかだいこん (根部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
かぶ (葉部)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: 3.21 圃場B: 3.36
	2					2000倍 散布 200 L/10 a
クレソン (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 3.08 圃場B: 1.22
	2					100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 250~300, 202 L/10 a
キャベツ (葉球)	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理+ 2000倍 散布 231, 281 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.32 (4回, 3日) 圃場B: 0.36
	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A: 0.26 (4回, 3日) 圃場B: 0.46 (4回, 3日) 圃場C: 0.36 圃場D: 0.10 (4回, 3日)
はくさい (茎葉)	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理 2000倍 散布 278-292, 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.29 圃場B: 2.00
	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 3.18 圃場B: 1.29
みずな (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 5.76 圃場B: 1.02
チンゲンサイ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 180, 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 0.54 圃場B: 1.80
ブロッコリー (花蕾)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +2000倍 散布 200, 70~150 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.20 (4回, 3日) 圃場B: 0.10 (4回, 3日) (#)
	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトレイ灌 注 +1000倍 散布 250, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.65 (4回, 1日) (#) 圃場B: 0.37 (4回, 1日) (#)
	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理 +2000倍 散布 273, 160~250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.30 圃場B: 0.30

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
カリフラワー (花蕾)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300, 210 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.26 (3回, 3日) 圃場B: <0.01
	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトイ灌 注 +2000倍 散布 267, 250, 271 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.22 圃場B: 0.18
はなっこりー (茎葉)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトイ灌 注 +2000倍 散布 300 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.54 圃場B: 0.52
タアサイ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトイ灌 注 +2000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A: 2.73 圃場B: 2.70
レタス (茎葉)	2	5.0% フロアブル	100倍500 mL/セルトイ灌 注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	3, 7, 14, 21	圃場A: 3.00 (4回, 7日) 圃場B: 0.60 (4回, 3日)
	2		100倍500 mL/セルトイ灌 注 +1000倍 散布 223, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 1.26 圃場B: 0.80
	2	0.50%粒剤 +5.0%フロアブル	1 g/株 植穴処理 +1000倍 散布 250~258, 278~279 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 1.94 (4回, 3日) 圃場B: 1.28
リーフレタス (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 1.83 圃場B: 6.70
	2		100倍500 mL/セルトイ灌 注 +1000倍 散布 150, 193.3 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 6.98 圃場B: 8.46
サラダ菜 (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A: 2.40 (2回, 3日) 圃場B: 2.31
	2		100倍500m L/セルトイ灌 注 +1000倍 散布 193.3, 200 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 5.82 圃場B: 8.63
ふき (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 0.19 圃場B: 0.29
ねぎ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.21 圃場B: 0.66
	2		100倍500 mL/セルトイ灌 注 +2000倍散布 192, 180 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.09 圃場B: 0.26
アスパラガス (若茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.02 圃場B: 0.02
パセリ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200, 397 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A: 5.62 圃場B: 6.10 (#)
コリアンダー (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 176, 183 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A: 1.98 圃場B: 1.18
トマト (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A: 0.04 (4回, 7日) 圃場B: 0.19
ミニトマト (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +2000倍 散布 250 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.12 (4回, 3日) 圃場B: 0.07
ピーマン (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200, 250 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A: 0.22 圃場B: 0.38
なす (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200 L/10 a	1+2	1, 7, 14	圃場A: 0.06 圃場B: 0.26
ししとう (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 281, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 1.12 (4回, 1日) (#) 圃場B: 2.50 (4回, 1日) (#)
甘長とうがらし (果実)	2	5.0% フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 180, 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7, 14	圃場A: 1.04 (4回, 1日) (#) 圃場B: 1.26 (4回, 1日) (#)

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	5.0%フロアブル	100倍25 mL/ポット灌注 +1000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+3	1, 7, 14	圃場A : 0.05 圃場B : 0.07
すいか (果肉)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
すいか (果皮)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.33 圃場B : 0.14
メロン (果肉)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
メロン (果皮)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 200, 250~251 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.54 (3回, 3日) 圃場B : 0.48 (3回, 3日)
とうがん (果実)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
ほうれんそう (茎葉)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 152.4, 182.65~182.86 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 4.10 (3回, 14日) 圃場B : 4.66
オクラ (果実)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 280, 225~275 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.15 圃場B : 0.27
しょうが (根茎)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 166, 178~180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.01 (3回, 7日) 圃場B : <0.01
さやえんどう (さや)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 200, 181 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.26 圃場B : 0.13
さやいんげん (さや)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 168~194, 183 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.19 圃場B : 0.14 (3回, 7日)
えだまめ (さや)	2	5.0%フロアブル	4000倍 散布 150~200, 200 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.14 圃場B : 0.32
未成熟そらまめ (さや)	2	5.0%フロアブル	1000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : <0.01
ごま (種子)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 0.04 圃場B : 0.03
モロヘイヤ (茎葉)	3	5.0%フロアブル	2000倍 散布 480, 420, 750 L/10 a	2	1, 3, 7, 14 1, 3, 7	圃場A : 14.4 (2回, 1日) (#) 圃場B : 8.32 (2回, 1日) (#) 圃場C : 7.26 (2回, 1日) (#)
えごま (葉)	2	5.0%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 6.80 圃場B : 13.6
りんご (果実)	4	10.0%フロアブル	2500倍 散布 600, 500, 500, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.31 (3回, 3日) 圃場B : 0.10 (3回, 3日) 圃場C : 0.37 圃場D : 0.18
なし (果実)	4	10.0%フロアブル	2500倍 散布 400, 700, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.16 (3回, 3日) 圃場B : 0.18 (3回, 3日) 圃場C : 0.33 圃場D : 0.17
もも (果肉)	2	10.0%フロアブル	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.02 (2回, 3日) 圃場B : <0.01 (2回, 3日)
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
もも (果皮)	2	10.0%フロアブル	5000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.67 (2回, 3日) 圃場B : 0.70 (2回, 3日)
	2		5000倍 散布 360, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.42 圃場B : 1.34
ネクタリン (果実)	2	10.0%フロアブル	5000倍 散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.11 圃場B : 0.08
あんず (果実)	2	10.0%フロアブル	2500倍 散布 625, 400 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.62 圃場B : 0.32 (3回, 14日)
すもも (果実)	2	10.0%フロアブル	2500倍 散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.04 (3回, 14日) 圃場B : 0.08
うめ (果実)	2	10.0%フロアブル	2500倍 散布 313, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.44 圃場B : 0.32
おうとう (果実)	4	10.0%フロアブル	2500倍 散布 700, 500, 417, 450 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.38 (3回, 3日) 圃場B : 0.23 (3回, 3日)
					1, 3, 7, 14	圃場C : 0.12 圃場D : 0.18

クロラントラニリプロール作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いちご (果実)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.23 圃場B : 0.30
ぶどう (果実)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 300, 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.16 (3回, 3日) 圃場B : 0.51 (3回, 3日)
かき (果実)	2	10.0% フロアブル	5000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.07 圃場B : 0.07 (3回, 7日)
茶 (荒茶)	2	10.0% フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 29.8 圃場B : 38.6
茶 (浸出液)	2	10.0% フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	1	3, 7, 14, 21	圃場A : 16.9 圃場B : 19.6
バジル (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 8.08 圃場B : 5.86
しそ (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 7.76 圃場B : 17.3
らっきょう (鱗茎)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
あすっこ (花・花茎)	2	5.0% フロアブル	100倍 500 mL/セルトイ灌注	1	82, 89, 96	圃場A : <0.02 (1回, 82日) 圃場B : <0.02 (1回, 82日)
アマランサス (茎葉)	2	5.0% フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 4.83 圃場B : 3.25
なばな (茎葉)	2	8.7%フロアブル +5.0%フロアブル	200倍500 mL/セルトイ灌 注 +2000倍 散布 200, 250~300 L/10 a	1+3	1, 3, 7	圃場A : 1.00 圃場B : 0.50

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	1	35%顆粒水和剤	49 g ai/ha散布	3	0, 7, 14, 21, 28	圃場A : <0.003 (#) 注2)
	1	35%顆粒水和剤	50~52 g ai/ha散布	3	0, 7, 15, 21, 28	圃場A : <0.003 (#)
	1	35%顆粒水和剤	74~76 g ai/ha散布	3	0, 1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.003 (#)
	1	35%顆粒水和剤	76 g ai/ha散布	3	0, 1, 3, 7, 14, 21	圃場A : <0.003 (#)
	1	35%顆粒水和剤	380 g ai/ha散布	3	14	圃場A : 0.003 (#)
	21	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha散布	3	14	圃場A : ND (#)
						圃場B : ND (#)
						圃場C : ND (#)
						圃場D : ND (#)
						圃場E : ND (#)
						圃場F : ND (#)
						圃場G : 0.004 (#)
						圃場H : ND (#)
						圃場I : ND (#)
						圃場J : ND (#)
圃場K : ND (#)						
4	35%顆粒水和剤	73~78 g ai/ha散布	3	15	圃場L : ND (#)	
					圃場M : ND (#)	
					圃場N : ND (#)	
					圃場O : ND (#)	
キャベツ (外葉あり)	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	3	圃場P : ND (#)	
					圃場Q : 0.003 (#)	
					圃場R : ND (#)	
					圃場S : ND (#)	
					圃場T : 0.003 (#)	
					圃場U : ND (#)	
					圃場A : 0.003 (#)	
					圃場B : ND (#)	
					圃場C : 0.004 (#)	
					圃場D : ND (#)	
					1	18.4%フロアブル
圃場F : 0.28 (#)						
3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	3	圃場G : 0.033 (#)	
					圃場H : 0.51 (#)	
キャベツ (外葉なし)	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha散布	2	3	圃場I : 0.48 (#)	
					圃場J : 0.066 (#)	
					圃場K : 0.29 (#)	
					圃場L : 1.1 (#)	
					圃場M : 0.75 (#)	
					圃場N : 2.9	
					圃場O : 2.2	
					圃場A : 0.10 (#)	
					圃場B : 0.037 (#)	
					圃場C : 0.078 (#)	
					圃場D : 0.077 (#)	
ブロッコリー (花蕾)	18.4%フロアブル	109~116 g ai/ha 散布	2	3	圃場E : 0.67 (2回, 1日) (#)	
					圃場A : 0.32 (#)	
					圃場B : 0.30 (#)	
					圃場C : 0.40 (#)	
					圃場D : 0.38 (#)	
					圃場E : 0.32 (#)	
					圃場F : 0.41 (#)	
					圃場G : 0.35 (#)	
圃場H : 0.12 (#)						
からしな (茎葉)	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2	3	圃場A : 1.7 (#)	
					圃場B : 4.6 (#)	
					圃場C : 1.2 (#)	
					圃場D : 5.6 (#)	
					圃場E : 2.9 (#)	
					圃場F : 3.7 (#)	
					圃場G : 4.8 (#)	
					圃場H : 2.2 (#)	

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (茎葉) (外葉あり)	1	18.4%フロアブル	111~113 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 0.56 (#)
	6	18.4%フロアブル	109~115 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 2.4 (#)
						圃場B : 1.3 (#)
						圃場C : 0.43 (#)
						圃場D : 2.2 (#)
						圃場E : 0.012 (#)
圃場F : 0.004 (#)						
レタス (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.47 (#) 圃場B : 0.043 (#) 圃場C : 0.39 (#)
リーフレタス (茎葉)	7	18.4%フロアブル	112~116 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 6.2 (#) 圃場B : 3.2 (#) 圃場C : 3.9 (#) 圃場D : 4.5 (#) 圃場E : 5.3 (#) 圃場F : 4.0 (#) 圃場G : 3.9 (#)
セルリー (茎葉) (外葉あり)	7	18.4%フロアブル	112~118 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.99 (#) 圃場B : 2.6 (#) 圃場C : 2.1 (#) 圃場D : 3.6 (#) 圃場E : 2.1 (#) 圃場F : 1.4 (#) 圃場G : 3.6 (#)
セルリー (茎葉) (外葉なし)	3	18.4%フロアブル	112~114 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 2.5 (#) 圃場B : 0.25 (#) 圃場C : 0.19 (#)
ほうれんそう (茎葉)	1	18.4%フロアブル	110~113 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 3.7 (#)
	6	18.4%フロアブル	110~118 g ai/ha 散布	2	1	圃場B : 6.8 (#)
						圃場C : 8.6 (#)
						圃場D : 7.4 (#)
						圃場E : 5.6 (#)
						圃場F : 8.9 (#)
圃場G : 7.3 (#)						
トマト (果実)	1	18.4%フロアブル	113 g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 10	圃場A : 0.14 (#)
	19	18.4%フロアブル	106~120 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.071 (#)
						圃場B : 0.040 (#)
						圃場C : 0.018 (#)
						圃場D : 0.032 (#)
						圃場E : 0.040 (#)
						圃場F : 0.032 (#)
						圃場G : 0.18 (#)
						圃場H : 0.14 (#)
						圃場I : 0.092 (#)
						圃場J : 0.14 (#)
						圃場K : 0.14 (#)
						圃場L : 0.044 (#)
						圃場M : 0.059 (#)
						圃場N : 0.051 (#)
						圃場O : 0.061 (#)
						圃場P : 0.11 (#)
						圃場Q : 0.095 (#)
						圃場R : 0.10 (#)
						圃場S : 0.082 (#)
ピーマン (果実)	11	18.4%フロアブル	105~119 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.11 (#)
						圃場B : 0.069 (#)
						圃場C : 0.024 (#)
						圃場D : 0.090 (#)
						圃場E : 0.013 (#)
						圃場F : 0.022 (#)
						圃場G : 0.019 (#)
						圃場H : 0.11 (#)
						圃場I : 0.13 (#)
						圃場J : 0.18 (#)
						圃場K : 0.14 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
とうがらし (果実)	9	18.4%フロアブル	109~119 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.21 (#)
						圃場B : 0.019 (#)
						圃場C : 0.035 (#)
						圃場D : 0.066 (#)
						圃場E : 0.059 (#)
						圃場F : 0.41 (#)
						圃場G : 0.063 (#)
						圃場H : 0.13 (#)
						圃場I : 0.069 (#)
きゅうり (果実)	6	18.4%フロアブル	109~124 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.022 (#)
						圃場B : 0.076 (#)
						圃場C : 0.011 (#)
						圃場D : 0.015 (#)
						圃場E : 0.006 (#)
						圃場F : 0.012 (#)
きゅうり (果実)	6	18.4%フロアブル	110~121 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.090 (#)
						圃場B : 0.027 (#)
						圃場C : 0.065 (#)
						圃場D : 0.10 (#)
						圃場E : 0.081 (#)
						圃場F : 0.052 (#)
マスクメロン (果実)	1	18.4%フロアブル	113~114 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.010 (#)
ペボカボチャ (果実)	6	18.4%フロアブル	108~121 g ai/ha 散布	2	1	圃場A : 0.017 (#)
						圃場B : 0.081 (#)
						圃場C : 0.023 (#)
						圃場D : 0.054 (#)
						圃場E : 0.076 (#)
						圃場F : 0.040 (#)
りんご (果実)	13	35%顆粒水和剤	111~118 g ai/ha 散布	2	14	圃場A : 0.13 (#)
						圃場B : 0.022 (#)
						圃場C : 0.056 (#)
						圃場D : 0.11 (#)
						圃場E : 0.074 (#)
						圃場F : 0.038 (#)
						圃場G : 0.010 (#)
						圃場H : 0.012 (#)
						圃場I : 0.088 (#)
						圃場J : 0.045 (#)
						圃場K : 0.093 (#)
						圃場L : 0.061 (#)
						圃場M : 0.23 (#)
なし (果実)	7	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha 散布	2	14	圃場A : 0.073 (#)
						圃場B : 0.072 (#)
						圃場C : 0.030 (#)
						圃場A : 0.054 (#)
						圃場A : 0.033 (#)
						圃場B : 0.059 (#)
なし (果実)	3	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2	13	圃場C : 0.085 (#)
						圃場A : 0.026 (#)
						圃場B : 0.070 (#)
なし (果実)	1	35%顆粒水和剤	113~115 g ai/ha 散布	2	10	圃場C : 0.10 (#)
						圃場D : 0.016 (#)
						圃場E : 0.12 (#)
						圃場F : 0.13 (#)
						圃場G : 0.070 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも (果実)	1	35%顆粒水和剤	116.13~115.71 g ai/ha散布	2	1, 3, 8, 10, 14	圃場A : 0.158 (#)	
	1	35%顆粒水和剤	111.69~112.42 g ai/ha散布	2	1, 3, 8, 11, 15	圃場A : 0.318 (#)	
	2	35%顆粒水和剤	110.69~112.34 g ai/ha 散布	2	9	圃場A : 0.0720 (#) 圃場B : 0.125 (#)	
	9	35%顆粒水和剤	111.37~113.65 g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.247 (#) 圃場B : 0.144 (#) 圃場C : 0.132 (#) 圃場D : 0.165 (#) 圃場E : 0.0639 (#) 圃場F : 0.0916 (#) 圃場G : 0.101 (#) 圃場H : 0.0827 (#) 圃場I : 0.122 (#)	
	3	35%顆粒水和剤	112.42~115.47 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.106 (#) 圃場B : 0.891 (#) 圃場C : 0.142 (#)	
	3	35%顆粒水和剤	110.35~115.85 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.114 (#) 圃場B : 0.132 (#) 圃場C : 0.101 (#)	
	4	35%顆粒水和剤	109.77~115.87 g ai/ha 散布	2	11	圃場A : 0.0897 (#) 圃場B : 0.105 (#) 圃場C : 0.309 (#) 圃場D : 0.183 (#)	
	すもも (果実)	1	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha散布	2	0, 5, 10, 14, 21	圃場A : 0.004 (2回, 10日) (#)
		10	35%顆粒水和剤	105~112g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.026 (#) 圃場B : 0.017 (#) 圃場C : 0.067 (#) 圃場D : 0.066 (#) 圃場E : 0.006 (#) 圃場F : 0.015 (#) 圃場G : 0.006 (#) 圃場H : 0.007 (#) 圃場I : 0.007 (#) 圃場J : 0.009 (#)
		3	35%顆粒水和剤	108~111 g ai/ha 散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.011 (#) 圃場B : 0.022 (#) 圃場C : 0.049 (#)
		3	35%顆粒水和剤	112~118 g ai/ha 散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.011 (#) 圃場B : 0.029 (#) 圃場C : 0.076 (#)
		おうとう (果実)	2	35%顆粒水和剤	112 g ai/ha 散布	2	9
6			35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.26 (#) 圃場B : 0.10 (#) 圃場C : 0.056 (#) 圃場D : 0.36 (#) 圃場E : 0.21 (#) 圃場F : 0.45 (#)
2			35%顆粒水和剤	112 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	10	圃場A : 0.15 (#) 圃場B : 0.48 (#)
2	35%顆粒水和剤		112 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	10	圃場A : 0.19 (#) 圃場B : 0.57 (#)	

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	1	35%顆粒水和剤	115.60~118.95 g ai/ha散布	2	1, 2, 7, 13, 23	圃場A : 0.0403 (#)
	1	35%顆粒水和剤	111.85~112.01 g ai/ha散布	2	1, 4, 7, 15, 20	圃場A : 0.429 (#)
	2	35%顆粒水和剤	111.08~115.15 g ai/ha散布	2	13	圃場A : 0.522 (#) 圃場B : 0.199 (#)
	10	35%顆粒水和剤	108.82~114.80 g ai/ha散布		14	圃場A : 0.0826 (#) 圃場B : 0.0415 (#) 圃場C : 0.0933 (#) 圃場D : 0.175 (#) 圃場E : 0.335 (#) 圃場F : 0.257 (#) 圃場G : 0.108 (#) 圃場H : 0.0440 (#) 圃場I : 0.0426 (#) 圃場J : 0.0364 (#)
	2	35%顆粒水和剤	111.69~114.06 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	14	圃場A : 0.0442 (#) 圃場B : 0.0445 (#)
	2	35%顆粒水和剤	112.25~114.86 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	14	圃場A : 0.0909 (#) 圃場B : 0.0408 (#)
	3	35%顆粒水和剤	107.90~114.01 g ai/ha散布	2	15	圃場A : 0.477 (#) 圃場B : 0.119 (#) 圃場C : 0.189 (#)
	1	35%顆粒水和剤	108.12~108.26 g ai/ha散布 野菜オイル加用	2	15	圃場A : 0.371 (#)
	1	35%顆粒水和剤	107.90~108.35 g ai/ha散布 非イオン系展着剤加用	2	15	圃場A : 0.461 (#)
	綿実 (種子)	1	35%顆粒水和剤	110~118 g ai/ha散布	2	0, 7, 14, 21, 28
1		35%顆粒水和剤	110~112 g ai/ha散布	2	0, 6, 14, 20, 25	圃場A : 0.34(2回, 6日) (#)
1		35%顆粒水和剤	112 g ai/ha散布	2	20	圃場A : 0.016 (#)
7		35%顆粒水和剤	109~114 g ai/ha散布	2	21	圃場A : 0.022 (#) 圃場B : 0.029 (#) 圃場C : 0.047 (#) 圃場D : 0.082 (#) 圃場E : 0.049 (#) 圃場F : 0.13 (#) 圃場G : 0.083 (#)
3		35%顆粒水和剤	110~114 g ai/ha散布	2	22	圃場A : 0.031 (#) 圃場B : 0.054 (#) 圃場C : 0.081 (#)
1		35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha散布	2	23	圃場A : 0.006 (#)
綿実 (綿花残渣)		5	35%顆粒水和剤	109~113 g ai/ha散布	2	21
	2	35%顆粒水和剤	110~114 g ai/ha散布	2	22	圃場A : 1.1 (#) 圃場B : 13 (#)
グリーンピーン (さや)	5	35%顆粒水和剤	59.66~60.52 g ai/ha散布	2	0, 1, 7, 14, 21	圃場A : 0.11 (2回, 1日) (#) 圃場B : 0.13 (2回, 1日) (#) 圃場C : 0.19 (#) 圃場D : 0.15 (2回, 1日) (#) 圃場E : 0.13 (2回, 日) (#)
	4	35%顆粒水和剤	57.72~61.59 g ai/ha散布	2	1	圃場A : 0.11 (#) 圃場B : 0.081 (#) 圃場C : 0.11 (#) 圃場D : 0.30 (#)
	6	35%顆粒水和剤	38.86~40.91 g ai/ha散布	2	1, 3	圃場A : 0.088 (#) 圃場B : 0.25 (#) 圃場C : 0.093 (#) 圃場D : 0.16 (#) 圃場E : 0.19 (#) 圃場F : 0.024 (#)
	4	35%顆粒水和剤	38.12~40.86 g ai/ha散布	2	1	圃場A : 0.055 (#) 圃場B : 0.031 (#) 圃場C : 0.12 (#) 圃場D : 0.083 (#)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
とうもろこし (穀粒)	1	18.4%フロアブル	110~112 g ai/ha散布	2	13	圃場A : ND(#)	
	1	18.4%フロアブル	559~567g ai/ha散布	2	13	圃場A : ND(#)	
	4	18.4%フロアブル	105~112 g ai/ha 散布	2	14	圃場A : ND(#) 圃場B : ND(#) 圃場C : ND(#) 圃場D : ND	
	2	18.4%フロアブル	108~116 g ai/ha 散布	2	15	圃場A : 0.005(#) 圃場B : 0.009(#)	
	1	18.4%フロアブル	554~567 g ai/ha散布	2	15	圃場A : ND(#)	
	2	18.4%フロアブル	0.100~0.109 lb ai/A 散布	4	13	圃場A : <0.010(#) 圃場B : <0.010(#)	
	10	18.4%フロアブル	0.095~0.109 lb ai/A 散布	4	14	圃場A : <0.010(#) 圃場B : <0.010(#) 圃場C : <0.010(#) 圃場D : <0.010(#) 圃場E : <0.010(#) 圃場F : <0.010(#) 圃場G : <0.010(#) 圃場H : <0.010(#) 圃場I : <0.010(#) 圃場J : <0.010(#)	
	1	18.4%フロアブル	0.099~0.103 lb ai/A散布	4	15	圃場A : <0.010(#)	
	1	18.4%フロアブル	0.101 lb ai/A散布	5	14	圃場A : <0.010(#)	
	とうもろこし (茎葉)	14	18.4%フロアブル	0.098~0.104 lb ai/A 散布	2	13	圃場A : 5.4(#) 圃場B : 5.315(#) 圃場C : 2.615(#) 圃場D : 0.69(#) 圃場E : 12.04(#) 圃場F : 3.635(#) 圃場G : 3.955(#) 圃場H : 0.824(#) 圃場I : 2.085(#) 圃場J : 2.075(#) 圃場K : 7.69(#) 圃場L : 4.52(#) 圃場M : 7.1(#) 圃場N : 2.36(#)
7		18.4%フロアブル	0.094~0.104 lb ai/A 散布	2	14	圃場A : 1.7(#) 圃場B : 3.1(#) 圃場C : 3.1(#) 圃場D : 2.8(#) 圃場E : 3.7(#) 圃場F : 2.2(#) 圃場G : 3.8(#)	
					15		
					13		
					14		
					15		
稲 (穀粒)		1	51.85%フロアブル	550 g ai/ha土壌処理	2	113	圃場A : 0.063(#)
		1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha散布	2	116	圃場A : 0.040(#)
		1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	117	圃場A : 0.057(#)
		1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha散布	2	120	圃場A : 0.010(#)
	1	51.85%フロアブル	546 g ai/ha土壌処理	2	120	圃場A : 0.049(#)	
	1	51.85%フロアブル	1077 g ai/ha土壌処理	2	120	圃場A : 0.037(#)	
	4	51.85%フロアブル	560 g ai/ha散布	2	122	圃場A : 0.051(#) 圃場B : 0.050(#) 圃場C : 0.072(#) 圃場D : 0.087(#)	
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	123	圃場A : 0.029(#)	
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	127	圃場A : 0.052(#)	
	1	51.85%フロアブル	560 g ai/ha土壌処理	2	130	圃場A : 0.028(#)	
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha土壌処理	2	134	圃場A : 0.030(#)	
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha土壌処理	2	138	圃場A : 0.046(#)	
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha散布	2	143	圃場A : 0.033(#)	
	1	51.85%フロアブル	561 g ai/ha土壌処理	2	148	圃場A : 0.031(#)	
	1	51.85%フロアブル	1121 g ai/ha土壌処理	2	148	圃場A : 0.048(#)	
Polebeans (さや)	1	5%フロアブル	20 g ai/ha散布	6	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 3.080(#)	
	1	5%フロアブル	40 g ai/ha散布	6	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 11.036(#)	
ブラックベリー (果実)	2	35%顆粒水和剤	0.097~0.100 lb ai/A 散布	2	3	圃場A : 0.049 圃場B : 0.436	

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ラズベリー (果実)	1	35%顆粒水和剤	0.099~0.103 lb ai/A 散布	2	1, 3, 7, 10	圃場A : 0.0902
	5	35%顆粒水和剤	0.100~0.105 lb ai/A 散布	2	3	圃場A : 0.235 圃場B : 0.481 圃場C : 0.482 圃場D : 0.513 圃場E : 0.095
いちご (果実)	2	5%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.23 圃場B : 0.30
ブルーベリー (果実)	9	35%顆粒水和剤	0.198~0.212 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.176 (#) 圃場B : 0.122 (#) 圃場C : 0.163 (#) 圃場D : 0.108 (#) 圃場E : 0.206 (#) 圃場F : 0.132 (#) 圃場G : 0.749 (#) 圃場H : 0.840 (#) 圃場I : 0.181 (#)
	1	35%顆粒水和剤	0.198~0.212 lb ai/A 散布	2	1, 3, 6, 13	圃場A : 0.234 (#)
	1	35%顆粒水和剤	0.198~0.212 lb ai/A 散布	2	1, 3, 8, 14	圃場A : 0.460 (#)
ミント (茎葉)	5	35%顆粒水和剤	0.097~0.103 lb ai/A 散布	2	3	圃場A : 4.61 (#) 圃場B : 4.64 (#) 圃場C : 5.68 (#) 圃場D : 5.33 (#) 圃場E : 2.22 (#)
コーヒー豆 (豆)	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha散布	3	7, 21	圃場A : 0.098 圃場B : 0.115
	2	35%顆粒水和剤	52.5 g ai/ha散布	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A : 0.188 圃場B : 0.205
アーモンド (可食部)	5	35%顆粒水和剤	111~114 g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.006 (#) 圃場B : 0.007 (#) 圃場C : 0.004 (#) 圃場D : 0.006 (#) 圃場E : 0.004 (#)
	1	35%顆粒水和剤	111~112 g ai/ha散布	2	11	圃場A : 0.008 (#)
ペカン (可食部)	1	35%顆粒水和剤	112~113 g ai/ha散布	2	9	圃場A : 0.015 (#)
	5	35%顆粒水和剤	112~114 g ai/ha 散布	2	10	圃場A : 0.003 (#) 圃場B : 0.003 (#) 圃場C : 0.007 (#) 圃場D : 0.014 (#) 圃場E : 0.009 (#)
なたね (種子)	6	18.4%フロアブル	219~231 g ai/ha散布	1	1	圃場A : 1.0 圃場B : 0.83 圃場C : 0.14 圃場D : 0.25 圃場E : 0.34 圃場F : 0.23
ひまわり (種子)	6	18.4%フロアブル	219~230 g ai/ha散布	1	1	圃場A : 0.79 圃場B : 0.12 圃場C : 0.21 圃場D : 0.030 圃場E : 0.82 圃場F : 0.16
さやいんげん	9	18.4%フロアブル	0.192~0.204 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.136 圃場B : 0.123 圃場C : 0.097 圃場D : <0.01 圃場E : 0.118 圃場F : 0.407 圃場G : 0.145 圃場H : 0.161 圃場I : 0.121
さやえんどう	4	18.4%フロアブル	0.201~0.205 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.640 圃場B : 0.476 圃場C : 0.444 圃場D : 0.611

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいず (乾燥子実)	1	18.4%フロアブル	0.1 lb ai/A散布	2	1	圃場A : 0.19
ラディッシュ (葉部)	6	18.4%フロアブル	0.200~0.208 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 11 圃場B : 10 圃場C : 17 圃場D : 6.8 圃場E : 3.8 圃場F : 18
ラディッシュ (根部)	6	18.4%フロアブル	0.200~0.208 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.23 圃場B : 0.031 圃場C : 0.051 圃場D : 0.046 圃場E : 0.027 圃場F : 0.071
ねぎ	5	18.4%フロアブル	0.199~0.203 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.653 圃場B : 0.406 圃場C : 0.787 圃場D : 1.49 圃場E : 0.717
らっかせい	6	18.4%フロアブル	0.200 lb ai/A散布	2	1	圃場A : 0.004 圃場B : 0.012 圃場C : <0.003 圃場D : 0.003 圃場E : <0.003 圃場F : 0.034
大麦	3	18.4%フロアブル	0.200~0.207 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 1.96 圃場B : 1.91 圃場C : 1.93
ソルガム	3	18.4%フロアブル	0.200~0.202 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 1.16 圃場B : 1.49 圃場C : 0.786
小麦	5	18.4%フロアブル	0.201~0.209 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.225 圃場B : 0.192 圃場C : 0.183 圃場D : 0.254 圃場E : 0.409
ザクロ	5	35%顆粒水和剤	0.194~0.206 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 0.101 圃場B : 0.0972 圃場C : 0.0899 圃場D : 0.125 圃場E : 0.119
パパイヤ	1	35%顆粒水和剤	0.207 lb ai/Acre散布	2	1, 3, 7, 10, 14	圃場A : 0.288
ライチ	1	35%顆粒水和剤	0.200 lb ai/Acre散布	2	1, 3, 6, 9, 13	圃場A : 0.451
おうとう	1	35%顆粒水和剤	0.199 lb ai/Acre散布	2	1, 3, 6, 10, 15	圃場A : 0.171
ディル (種子)	2	18.4%フロアブル	0.100~0.101 lb ai/A 散布	2	1	圃場A : 17.6 圃場B : 24.3

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
ND : not detected (検出限界0.003 ppm未満)

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (豪州)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ひよこ豆	2	35%顆粒水和剤	140g ai/ha散布	2	14	圃場A : <0.005 圃場B : 0.14
緑豆	2	35%顆粒水和剤	140g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.42 圃場B : 0.32
だいず	3	35%顆粒水和剤	140g ai/ha散布	2	14	圃場A : 0.013 圃場B : <0.005 圃場C : 0.027
スナップえんどう	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 6, 14	圃場A : 0.47 (2回, 14日)
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 6, 14	圃場A : 1.32 (2回, 14日)
さやえんどう	2	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09 圃場B : 0.03
	2	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.24 圃場B : 0.11
グリーンピース	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 12	圃場A : <0.01
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 12	圃場A : <0.01
さやいんげん	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7, 14	圃場A : 0.09
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 7	圃場A : 0.31
いんげんまめ	1	18.4%フロアブル	20g ai/ha散布	2	0, 1, 3, 7	圃場A : 0.11
	1	18.4%フロアブル	112g ai/ha散布	2	0, 1, 7	圃場A : 0.24

注) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

クロラントラニプロール作物残留試験一覧表 (ニュージーランド)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アボカド	1	35%顆粒水和剤	94.5 g ai/ha散布	<u>2</u>	1, 7, <u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.16 (2回, 7日) (#) ^{注2)}
	1	35%顆粒水和剤	94.5 g ai/ha散布	<u>2</u>	14	圃場A : 0.15
	1	35%顆粒水和剤	189 g ai/ha散布	3	1, 7, <u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.34 (3回, 1日) (#)
	1	35%顆粒水和剤	189 g ai/ha散布	3	14	圃場A : 0.31

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
小麦	6	6		0.02	6.0 米国	【0.183-0.409(n=5)(小麦) (1.91,1.93,1.96)(大麦) (0.786,1.16,1.49)(ソルガム)(米国)】
大麦	6	6		0.02	6.0 米国	【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
ライ麦	6	6		0.02	6.0 米国	【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
とうもろこし	0.6	0.6	○	0.6		
そば	6	6		0.02	6.0 米国	【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
その他の穀類	6	6		0.02	6.0 米国	【米国小麦、大麦、ソルガム参照】
大豆	0.2	0.2	○	0.05		<0.01,0.03(\$)
小豆類	1	1				【0.32,0.42(緑豆)(豪州)】
えんどう	1	1				【小豆類参照】
そら豆	1	1				【小豆類参照】
らっかせい	0.06	0.06		0.06	0.06 米国	【<0.003-0.034(n=6)(米国)】
その他の豆類	1	1				【小豆類参照】
ばれいしょ	0.02	0.02		0.02		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
かんしょ	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○	0.02		<0.01,<0.01
こんにゃくいも	0.02	0.02		0.02		
その他のいも類	0.02	0.02		0.02		
てんさい	0.02	0.02		0.02		
さとうきび	14	14	○	0.5	14 米国	【0.69-12.04(#)(n=21) (とうもろこし茎葉)(米国)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	0.5	○	0.5		
だいこん類(ラディッシュを含む。)	40	40	○	40		
かぶ類の根	0.2	0.2	○	0.02		0.02,0.03(\$)
かぶ類の葉	20	20	○	20		
西洋わさび	0.02	0.02		0.02		
クレソン	20	20	○	20		
はくさい	20	20	○	20		
キャベツ	4	4	○	2	4.0 米国	【0.033-1.1(n=11) (外葉あり)、0.037,0.077,0.078 (外葉なし)(米国)】
芽キャベツ	4	4		2	4.0 米国	【米国キャベツ参照】
ケール	20	20	○	20		
こまつな	20	20	○	20		
きょうな	20	20	○	20		
チンゲンサイ	20	20	○	20		
カリフラワー	4	4	○	2	4.0 米国	【米国キャベツ参照】
ブロッコリー	4	4	○	2	4.0 米国	【米国キャベツ参照】
その他のあぶらな科野菜	20	20	○	20		
ごぼう	0.02	0.02		0.02		
サルシフィー	0.02	0.02		0.02		
アーティチョーク	2	4		2		
チコリ	20	20		20		
エンダイブ	20	20		20		
しゅんぎく	20	20		20		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	20	20	○	20		
その他のきく科野菜	20	20	○	20		
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○		3.0 米国	【0.406-1.49(n=5)(米国)】
にら	3	3			3.0 米国	【米国ねぎ参照】
アスパラガス	0.1	0.1	○			0.02,0.02
その他のゆり科野菜	3	3	○		3.0 米国	【米国ねぎ参照】

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
にんじん	0.08	0.08		0.08		
パースニップ	0.02	0.02		0.02		
パセリ	15	13	○・申			5.62,6.10(\$)
セロリ	15	13	申	7		【パセリ参照】
みつば	15		申			【パセリ参照】
その他のせり科野菜	15	13	申	0.02		【パセリ参照】
トマト	0.7	0.7	○	0.6		※1
ピーマン	1	1	○	0.6	1	EU
なす	0.7	0.7	○	0.6		0.22,0.38
その他のなす科野菜	20	20	○	20		0.06,0.26(\$)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
しろうり	0.3	0.3		0.3		
すいか※2	0.1	0.1	○			
メロン 類果実※2	0.1	0.1	○			
まくわり※2	0.1	0.1				
その他のうり科野菜	20	20	○	20		
ほうれんそう	20	20	○	20		
オクラ	0.7	0.7	○	0.6		0.15, 0.27
しょうが	0.05	0.05	○			<0.01,0.01
未成熟えんどう	2	2	○	2		
未成熟いんげん	2	0.8	○	2		
えだまめ	1	1	○			0.14,0.32(\$)
マッシュルーム	0.6	0.6		0.6		
しいたけ	0.6	0.6		0.6		
その他のきのこ類	0.6	0.6		0.6		
その他の野菜	20	20	○	20		
みかん※3	0.2	0.1				
なつみかんの果実全体	0.7	0.5		0.7		
レモン	0.7	0.5		0.7		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.5		0.7		
グレープフルーツ	0.7	0.5		0.7		
ライム	0.7	0.5		0.7		
その他のかんきつ類果実	0.7	0.5		0.7		
りんご	1	1	○	0.4	1.2	米国
日本なし	1	1	○	0.4	1.2	米国
西洋なし	1	1	○	0.4	1.2	米国
マルメロ	1	1		0.4	1.2	米国
びわ	0.4	0.4				【0.010(#)-0.23(#)(n=17)(米国)】 【米国西洋なし参照】
もも※4	0.4	0.4	○		4.0	米国
ネクタリン	4	4	○	1	4.0	米国
あんず(アブリコットを含む。)	4	4	○	1	4.0	米国
すもも(プルーンを含む。)	4	4	○	1	4.0	米国
うめ	1	1	○	1		【0.004(#)-0.076(#)(n=17)(米国)】 0.32, 0.44
おうとう(チェリーを含む。)	1	1	○	1		【0.056(#)-0.57(#)(n=12)(米国)】
いちご	1	1	○	1		
ラズベリー	2	2		1	1.8	米国
ブラックベリー	2	2		1	1.8	米国
ブルーベリー	3	3		1	2.5	米国
クランベリー	3	3		1	2.5	米国
ハックルベリー	3	3		1	2.5	米国
その他のベリー類果実	3	3		1	2.5	米国
ぶどう	2	2	○	1		0.16,0.51(\$)
かき	0.3	0.3	○			0.07,0.07
アボカド	0.5	0.5			0.5	ニュージーランド
その他の果実	1	1		1		【0.15-0.34(#)(n=4)(ニュージーランド)】

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
ひまわりの種子	2	2	○	2	2.0	米国 【0.030-0.82(n=6)(米国)】 【米国綿実参照】
ごまの種子	0.3	0.3				
べにばなの種子	2	2				
綿実	0.3	0.3				
なたね	2	2				
その他のオイルシード	0.3	0.3				
ぎんなん	0.02	0.02		0.02		
くり	0.02	0.04		0.02		
ペカン	0.02	0.04		0.02		
アーモンド	0.02	0.04		0.02		
くるみ	0.02	0.04		0.02		
その他のナッツ類	0.02	0.04		0.02		
茶	50	50	○	0.05	0.4	米国 29.8,38.6(荒茶) 【0.098-0.205(n=4)(米国)】
コーヒー豆	0.4	0.4				
カカオ豆※5	0.08	0.08				
ホップ	40	40				
その他のスパイス	90	90				【17.6, 24.3(n=2)(デイル(種子))(米国)】
その他のハーブ	25	25	○	20		7.76,17.3(\$)(しそ)
牛の筋肉	0.2	0.2		0.2		推:0.02
豚の筋肉	0.2	0.2		0.2		【牛の筋肉参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.2		【牛の筋肉参照】
牛の脂肪	0.3	0.3		0.2		推:0.12
豚の脂肪	0.3	0.3		0.2		【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.2		【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.3	0.3		0.2		推:0.10
豚の肝臓	0.3	0.3		0.2		【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.2		【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.2	0.2		0.2		推:0.07
豚の腎臓	0.2	0.2		0.2		【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.2		0.2		【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.2	0.2		0.2		【牛の腎臓参照】
豚の食用部分	0.2	0.2		0.2		【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.2		0.2		【牛の腎臓参照】
乳	0.05	0.05		0.05		推:0.01
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02		推:0.016
その他の家さんの筋肉	0.02	0.02		0.02		
鶏の脂肪	0.08	0.01	申	0.08		推:0.066
その他の家さんの脂肪	0.08	0.01	申	0.08		
鶏の肝臓	0.07	0.02	申	0.07		推:0.054
その他の家さんの肝臓	0.07	0.02	申	0.07		
鶏の腎臓	0.07	0.02		0.07		
その他の家さんの腎臓	0.07	0.02		0.07		
鶏の食用部分	0.07	0.02		0.07		
その他の家さんの食用部分	0.07	0.02		0.07		
鶏の卵	0.2	0.2		0.2		推:0.162
その他の家さんの卵	0.2	0.2		0.2		

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
魚介類	0.05	0.05			⋮	推:0.05

申請(国内における登録、承認等の申請、インポートライセンス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※1平成21年3月当時の米国基準値を参照した現行基準値を維持する。

※2すいか、メロン類果実及びまくわうりにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.3(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※3みかんにおいては、国際基準の残留基準に加工係数0.24(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※4ももにおいては、米国の残留基準に国内残留試験より算出した加工係数0.1(可食部係数。果実全体の残留量に対する果肉の残留量の比)を乗じた値を基準値案とした。

※5カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

クロラントラニプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	0.05	8.2	4.3	5.3	9.0
小麦	6	358.8	265.8	414.0	299.4
大麦	6	31.8	26.4	52.8	26.4
ライ麦	6	0.6	0.6	3.0	0.6
とうもろこし	0.6	2.8	3.2	3.6	2.6
そば	6	6.6	3.0	10.8	6.6
その他の穀類	6	1.2	0.6	0.6	1.8
大豆	0.2	7.8	4.1	6.3	9.2
小豆類	1	2.4	0.8	0.8	3.9
えんどう	1	0.1	0.1	0.1	0.1
そら豆	1	0.7	0.2	0.8	0.8
らっかせい	0.06	0.1	0.0	0.0	0.1
その他の豆類	1	0.1	0.1	0.1	0.1
ばれいしょ	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.3	0.1	0.1	0.4
かんしょ	0.05	0.3	0.3	0.6	0.5
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.2	0.0	0.1	0.2
こんにゃくいも	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.02	0.7	0.6	0.8	0.7
さとうきび	14	1374.8	1170.4	1737.4	1402.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.5	16.5	5.7	10.3	22.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	40	68.0	24.0	124.0	112.0
かぶ類の根	0.2	0.6	0.2	0.0	1.0
かぶ類の葉	20	6.0	2.0	2.0	12.0
西洋わさび	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	20	2.0	2.0	2.0	2.0
はくさい	20	354.0	102.0	332.0	432.0
キャベツ	4	96.4	46.4	76.0	95.2
芽キャベツ	4	0.4	0.4	0.4	0.4
ケール	20	4.0	2.0	2.0	4.0
こまつな	20	100.0	36.0	128.0	128.0
きょうな	20	44.0	8.0	28.0	54.0
チンゲンサイ	20	36.0	14.0	36.0	38.0
カリフラワー	4	2.0	0.8	0.4	2.0
ブロッコリー	4	20.8	13.2	22.0	22.8
その他のあぶらな科野菜	20	68.0	12.0	16.0	96.0
ごぼう	0.02	0.1	0.0	0.1	0.1
サルシフィー	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	2	0.2	0.2	0.2	0.2
チコリ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
エンダイブ	20	2.0	2.0	2.0	2.0
しゅんぎく	20	30.0	6.0	52.0	50.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	20	192.0	88.0	228.0	184.0
その他のきく科野菜	20	30.0	2.0	12.0	52.0
ねぎ (リーキを含む。)	3	28.2	11.1	20.4	32.1
にら	3	6.0	2.7	5.4	6.3
アスパラガス	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3
その他のゆり科野菜	3	1.8	0.3	0.6	3.6
にんじん	0.08	1.5	1.1	1.8	1.5
パースニップ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	15	1.5	1.5	1.5	3.0
セロリ	15	18.0	9.0	4.5	18.0
みつば	15	6.0	1.5	1.5	7.5
その他のせり科野菜	15	3.0	1.5	4.5	4.5
トマト	0.7	22.5	13.3	22.4	25.6

クロラントラニプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ピーマン	1	4.8	2.2	7.6	4.9
なす	0.7	8.4	1.5	7.0	12.0
その他のなす科野菜	20	22.0	2.0	24.0	24.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.3	6.2	2.9	4.3	7.7
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	2.8	1.1	2.4	3.9
しろうり	0.3	0.2	0.0	0.0	0.3
すいか	0.1	0.8	0.6	1.4	1.1
メロン類果実	0.1	0.4	0.3	0.4	0.4
まくわうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のうり科野菜	20	54.0	24.0	12.0	68.0
ほうれんそう	20	256.0	118.0	284.0	348.0
オクラ	0.7	1.0	0.8	1.0	1.2
しょうが	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
未成熟えんどう	2	3.2	1.0	0.4	4.8
未成熟いんげん	2	4.8	2.2	0.2	6.4
えだまめ	1	1.7	1.0	0.6	2.7
マッシュルーム	0.6	0.3	0.2	0.7	0.1
しいたけ	0.6	3.6	1.8	1.9	4.4
その他のきのこ類	0.6	6.1	2.8	6.3	6.8
その他の野菜	20	268.0	126.0	202.0	282.0
みかん	0.2	3.6	3.3	0.1	5.2
なつみかんの果実全体	0.7	0.9	0.5	3.4	1.5
レモン	0.7	0.4	0.1	0.1	0.4
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.7	4.9	10.2	8.8	2.9
グレープフルーツ	0.7	2.9	1.6	6.2	2.5
ライム	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	0.7	4.1	1.9	1.8	6.7
りんご	1	24.2	30.9	18.8	32.4
日本なし	1	6.4	3.4	9.1	7.8
西洋なし	1	0.6	0.2	0.1	0.5
マルメロ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.4	0.2	0.1	0.8	0.2
もも	0.4	1.4	1.5	2.1	1.8
ネクタリン	4	0.4	0.4	0.4	0.4
あんず (アブリコットを含む。)	4	0.8	0.4	0.4	1.6
すもも (プルーンを含む。)	4	4.4	2.8	2.4	4.4
うめ	1	1.4	0.3	0.6	1.8
おうとう (チェリーを含む。)	1	0.4	0.7	0.1	0.3
いちご	1	5.4	7.8	5.2	5.9
ラズベリー	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブラックベリー	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブルーベリー	3	3.3	2.1	1.5	4.2
クランベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
ハックルベリー	3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	3	0.3	0.3	0.6	0.3
ぶどう	2	17.4	16.4	40.4	18.0
かき	0.3	3.0	0.5	1.2	5.5
アボカド	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2
その他の果実	1	1.2	0.4	0.9	1.7
ひまわりの種子	2	0.2	0.2	0.2	0.2
ごまの種子	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
べにばなの種子	2	0.2	0.2	0.2	0.2
綿実	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	2	11.8	7.4	10.8	9.2
その他のオイルシード	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

クロラントラニリプロール推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ぎんなん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	50	330.0	50.0	185.0	470.0
コーヒー豆	0.4	1.3	0.0	0.1	1.0
カカオ豆	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	40	4.0	4.0	4.0	4.0
その他のスパイス	90	9.0	9.0	9.0	18.0
その他のハーブ	25	22.5	7.5	2.5	35.0
陸棲哺乳類の肉類	0.3	17.3	12.9	19.3	12.3
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.3	0.4	0.2	1.4	0.3
陸棲哺乳類の乳類	0.05	13.2	16.6	18.2	10.8
家さんの肉類	0.08	1.7	1.2	1.8	1.3
家さんの卵類	0.2	8.3	6.6	9.6	7.6
魚介類	0.05	4.7	2.0	2.7	5.7
計		4119.9	2386.0	4303.7	4642.7
ADI比 (%)		5.0	9.6	4.9	5.5

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。

(参考)

これまでの経緯

平成20年	3月10日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼(新規：水稻、りんご等)
平成20年	3月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	7月23日	インポートトレランス申請(ばれいしょ、ほうれんそう等)
平成20年	10月9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	7月22日	初回農薬登録
平成21年	9月28日	残留農薬基準告示
平成22年	7月12日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：だいこん、かぶ等)
平成22年	7月14日	インポートトレランス申請(米、かんきつ類、魚介類等)
平成22年	8月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	12月28日	残留農薬基準告示
平成24年	4月16日	インポートトレランス申請(みかん、ラズベリー等)
平成24年	5月9日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：さといも、やまのいも等)
平成24年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	10月24日	農林水産省から厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準設定依頼(適用拡大：かんしょ)
平成24年	10月31日	インポートトレランス申請(ひまわり(種子)、なたね等)
平成24年	11月12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	10月22日	残留農薬基準告示
平成26年	1月24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：オクラ及びしょうが)
平成26年	3月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	3月27日	インポートトレランス申請(小麦、たまねぎ等)
平成26年	6月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成27年	5月19日	残留農薬基準告示

平成28年	7月	1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：せり科葉菜類(パセリを除く)及びパセリ)
平成28年	11月	14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	4月	18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年	8月	25日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成29年	9月	7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

○ 穂山 浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井 里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
井之上 浩一	立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
折戸 謙介	麻布大学獣医学部生理学教授
魏 民	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授
佐々木 一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	元 一般財団法人残留農薬研究所理事
佐野 元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○：部会長)

答申(案)

クロラントラニプロール

食品名	残留基準値 ppm
米(玄米をいう。)	0.05
小麦 大麦 ライ麦 とうもろこし そば その他の穀類 ^{注1)}	6 6 6 0.6 6 6 注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。
大豆 小豆類 ^{注2)} えんどう そら豆 らっかせい その他の豆類 ^{注3)}	0.2 1 1 1 0.06 1 注2)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。 注3)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
ばれいしょ さといも類(やつがしらを含む。) かんしょ やまいも(長いもをいう。) こんにやくいも その他のいも類 ^{注4)}	0.02 0.05 0.05 0.05 0.02 0.02 注4)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにやくいも以外のものをいう。
てんさい さとうきび	0.02 14
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根 だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉 かぶ類の根 かぶ類の葉 西洋わさび クレソン はくさい キャベツ 芽キャベツ ケール こまつな きょうな チンゲンサイ カリフラワー ブロッコリー その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	0.5 40 0.2 20 0.02 20 20 4 4 20 20 20 20 4 4 20 注5)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
ごぼう サルシフィー アーティチョーク チコリ エンダイブ しゅんぎく レタス(サラダ菜及びちしやを含む。) その他のきく科野菜 ^{注6)}	0.02 0.02 2 20 20 20 20 20 20 注6)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

食品名	残留基準値	
	ppm	
ねぎ(リーキを含む。) にら アスパラガス その他のゆり科野菜 ^{注7)}	3 3 0.1 3	注7)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
にんじん パースニップ パセリ セロリ みつば その他のせり科野菜 ^{注8)}	0.08 0.02 15 15 15 15	注8)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜 ^{注9)}	0.7 1 0.7 20	注9)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
きゅうり(ガーキンを含む。) かぼちゃ(スカッシュを含む。) しろうり すいか メロン類果実 まくわうり その他のうり科野菜 ^{注10)}	0.3 0.3 0.3 0.1 0.1 0.1 20	注10)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
ほうれんそう オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	20 0.7 0.05 2 2 1	注11)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類 ^{注11)}	0.6 0.6 0.6	注12)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
その他の野菜 ^{注12)}	20	
みかん なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実 ^{注13)}	0.2 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7	注13)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	1 1 1 1 0.4	
もも ネクタリン あんず(アブリコットを含む。) すもも(プルーンを含む。) うめ おうとう(チェリーを含む。)	0.4 4 4 4 1 1	

食品名	残留基準値	
	ppm	
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー その他のベリー類果実 ^{注14)}	1 2 2 3 3 3 3	注14)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
ぶどう かき	2 0.3	注15)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
アボカド その他の果実 ^{注15)}	0.5 1	
ひまわりの種子 ごまの種子 べにばなの種子 綿実 なたね その他のオイルシード ^{注16)}	2 0.3 2 0.3 2 0.3	注16)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。
ぎんなん くり ペカン アーモンド くるみ その他のナッツ類 ^{注17)}	0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02	注17)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
茶 コーヒー豆 カカオ豆 ^{注18)} ホップ	50 0.4 0.08 40	注18)カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。
その他のスパイス ^{注19)} その他のハーブ ^{注20)}	90 25	注19)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注21)} の筋肉	0.2 0.2 0.2	注20)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3 0.3 0.3	注21)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3 0.3 0.3	
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2 0.2 0.2	
牛の食用部分 ^{注22)} 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2 0.2 0.2	注22)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
乳	0.05	
鶏の筋肉 その他の家きん ^{注23)} の筋肉	0.02 0.02	注23)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

食品名	残留基準値
	ppm
鶏の脂肪	0.08
その他の家さんの脂肪	0.08
鶏の肝臓	0.07
その他の家さんの肝臓	0.07
鶏の腎臓	0.07
その他の家さんの腎臓	0.07
鶏の食用部分	0.07
その他の家さんの食用部分	0.07
鶏の卵	0.2
その他の家さんの卵	0.2
魚介類	0.05